

5月例会 武奈ヶ岳 (1214m) ・ 蓬莱山 (1174m) 滋賀県

実施日 2019 (令和元) 年 5月7日(火)~5月8日(水)

天候 晴れ (2日共)

参加者 CL: 佐藤 SL: 三村 藤川 神 高井

桑野 小林陽 船越 近藤嗣 近藤浩 井上 神山 森田 藤川豊 水畑 永谷 岡野 墨江 梶原 前田
(男8・女11 合計19名)

行程 1日目 武奈ヶ岳

岡山西口発 (6:00) ⇒ 葛川市民センター着 (9:00) 登山口 (9:30) → 御殿山 (昼食 11:40~12:10)
御殿山発 (12:15) → ワサビ峠 → 武奈ヶ岳 (13:00~13:15) → コヤマノ分岐 → イプルキのコバ →
八雲ヶ原湿原 (14:30~14:45) → イン谷口下山 (17:00) バスにて宿へ

2日目 蓬莱山

琵琶湖バレイ登山口 (9:30) ⇒ びわ湖アルプスゴンドラ利用 (10:00) → 打見山 (10:20) スキー場
→ 蓬莱山・小女郎ヶ池 → 蓬莱山 (昼食) → 打見山発 (12:20) → クロトノハゲ → 天狗杉 (13:00)
→ 脇山分岐 → 琵琶湖バレイ登山口下山 (14:20) 体操 バスにて帰路につく (14:30)

概要

1日目

岡山からバスは順調に走り9時過ぎには葛川に着いた。立夏を迎えているが肌寒い感じで、雲一つ無い青空のもと体操を終え、明王谷にかかる赤い橋を目指して出発した。標高差900mを7時間の歩行。不安と山頂を極めるワクワク感とで少し緊張もしながら登り始めた。標高900m位まではスギやヒノキ林の急登が続き、倒木もあったが比較的足場も良かった。このあたりからナラ・モミジ・ブナの木の新緑や谷間に広がるトリカブトの若葉が美しく、イワカガミの群生に歓声が上がった。足元の可愛いイカリソウにも元気ももらった。なだらかな登りを歩くと御殿山に着き、昼食と写真撮影。頂上からの眺めも良かったが風も結構強く寒く感じられた。武奈ヶ岳山頂は360度の展望が開け、澄み切った青空に伊吹山や遠方に白山が見え感激もひとしおであった。



写真撮影や景色を楽しみ下山。八雲湿原まで降りると風もないので、ゆっくりと休憩をとった。コブシや薄いピンクや濃い紅色のシャクナゲの美しさとイワカガミに癒され、疲れを忘れて歩いた。北比良峠から大山口までずっと、足元のイワカガミやイワウチワの群生、ミヤマカタバミなどの花が咲き乱れるのを見、また清流が流れるのを聞いて元気ももらい、得した気分で長いジグザグ道を歩いた。



イワカガミ



イワウチワ



イカリソウとミヤマカタバミ



シャクナゲ

2日目

朝から好天に恵まれバスで琵琶湖バレイ
に向かい10時にはロープウェイで打見山
山頂に着いた。山頂からの眺めは素晴らしく
琵琶湖が一望できた。蓬萊山の山頂まで標高
差70mを皆で登り自由行動とした。丘陵地
には、遊具が整備され黄色や白のスイセンが
一面に植えられていた。咲き誇ったスイセン
の花を愛でる者、童心に戻り遊具で遊ぶ者、
蓬萊山頂からクマササ原を抜けて小女郎池を
往復する者など各グループで散策。歩いて下
山する者12名は12時30分出発。クロト
ノハゲからジグザグに登山道を降りると此処
でもシャクナゲとイワカガミが迎えてくれ、し
っかり花を楽しめた。途中の天狗杉にて写真
撮影をし休憩をとる。下山口では色とりどりの
サクラソウの花が我々を慰労してくれた。



黄色レンゲツツジ



サクラソウ

ロープウェイで下山の7人と合流し帰路に着いた。3年ぶりに実現した武奈ヶ岳と蓬萊山、どちらも好天に
恵まれ、春の花、初夏の花が楽しめ、最高に満足した山行であった。(高井 記)